

# 平成 29 年度 事業報告書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 日韓トンネル研究会

## 1. 事業の成果

日韓トンネルは国会など議会の承認を得ながら進めることが大切である。そのため、研究の基本に立ち返り、大水深や高水圧に耐えるマシンやセグメントの開発など設計・施工面での可能性に見当をつけることを目指した。

これらについて根拠ある見通しを立て、それを公表することで、日韓トンネルが日韓両国共通の関心事となるよう研究を進めた。平成 29 年度は以下のことを研究した。

### ① 社会教育事業

- ・ 渉外活動
- ・ 講演会や勉強会の開催

### ② 調査研究事業

- ・ 地形地質の研究
- ・ 工法の研究
- ・ 事例研究
- ・ 日韓トンネルに関する資料収集
- ・ トンネルに関する既存資料収集

### ③ 国際協力事業

- ・ 交流会の実施
- ・ 在外公館の訪問

### ④ 情報収集提供事業

- ・ インターネットによる情報収集
- ・ ホームページの公開と維持

### ⑤ 刊行誌の発行事業

- ・ 日韓トンネル通信の発行
- ・ パンフレット等の増刷

(研究成果の概要は当会の刊行物「日韓トンネル通信」に公表し、関係する政府ならびに地方公共団体に発送した。)

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
社会教育事業	<p>◆<b>渉外活動</b> 日韓トンネルを日韓両国が共同で取り組むプロジェクトとするために、日韓関係に関わる諸団体の代表者や議員などを対象に日韓トンネル構想の進捗状況や展望をブリーフィングした。</p> <p>◆<b>講演会や勉強会の開催</b> 日韓トンネルに関する講演会や勉強会を実施した。日本国内で実施した講演会は以下の通り。</p> <p>◇2017年6月14日：講演会を開催 演題：外径14.46mの泥土圧式シールドによる岩盤掘削 ニュージーランド ウォータービュートンネル 講師：玉井昭雄：(株)大林組 元ウォータービュートンネル工事事務所所長 場所：東京</p> <p>◇2017年11月9日：講演会を開催 演題：日韓関係と日韓トンネル 講師：野澤太三（当会会長） 場所：福岡</p> <p>◇2018年1月30日：講演会を開催 演題：日韓関係と日韓トンネルの推進 講師：野澤太三（当会会長） 場所：東京</p> <p>◇2018年2月15日：講演会を開催 演題：日韓トンネル構想と実現への展望 講師：野澤太三（当会会長） 場所：東京</p>	通年	日本	6人	全会員 1,000人 政財官界人 日韓関係団体	448
調査研究事業	<p>◆<b>地形地質の研究</b> 海底地形図や地質図などからルート沿いの地質性状と掘削可能な工法などを検討した。</p> <p>◆<b>工法の研究</b> ◇大深度、高水圧、長距離掘削に耐えるマシン開発に見当をつける。 ① カッタビットをシールドマシンの内側から交換する技術 ・リレービット工法 ・カメレオンカッタ工法</p>	通年	日本	31人	全会員 1,000人	3,149

調査研究事業	<p>② 各種シール部分の止水 (テール、カッタヘッド軸受部、中折れ、ディスクカッタ軸)</p> <p>③ 切羽水圧の低減</p> <p>④ 切羽土砂の地上までの流体輸送</p> <p>◇ 耐圧性と耐久性を兼ね備えたセグメントの研究 ・各種セグメントの特長や課題 ・耐圧性、耐久性、施工性の確保 ・裏込材の注入方法</p> <p>◆事例研究 ① 英仏海峡トンネルの輸送実績 ② 海底トンネルの分岐器の位置と形態 ③ アライアンス契約 ④ 東アジア各国の高速鉄道の現状</p> <p>◆日韓トンネルに関する資料収集 海底地形図などの収集と分析。</p> <p>◆トンネルに関する既存資料収集 日韓トンネルの設計施工に参考となる国内外のトンネルに関する資料(工事誌など)の収集。</p>					
国際協力事業	<p>◆勉強会や交流会の実施 日韓トンネルに関する外国人学者、技術者らとの交流を深めるため、国外で次の講演会や勉強会を実施した。</p> <p>◇2018年2月21日：大韓民国憲政会を訪問し、日韓トンネルの進捗状況を説明(ソウル)</p> <p>◇2018年2月21日：在大韓民国日本国大使館を訪問し日韓トンネルの進捗状況を説明(ソウル)</p>	通年	韓国  日本	12人	不特定多数	548
情報収集提供事業	<p>◆インターネットによる情報収集 海底トンネルの設計、施工、維持管理などに関する情報を収集して整理した。</p> <p>◆ホームページの公開と維持 インターネットにより不特定多数に日韓トンネルに関する情報を提供した。</p>	通年	日本	4人	不特定多数	319
刊行紙の発行业	<p>◆日韓トンネル通信の発行 刊行紙として「日韓トンネル通信」を8回発行した。</p> <p>◆パンフレットの増刷 日韓トンネルのパンフレットを随時増刷して配布・使用している。日本語版、ハングル版、英語版、中国語版がある。</p>	随時	日本	12人	全会員 他 5,000人	1,189